



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10 歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004 年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 【主 催】 (公社) 岩手県サッカー協会
- 【主 管】 (公社) 岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11 地区
- 【運 営】 地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFA キッズリーダー、ご協力いただける父母の方々など
- 【対 象】 少年団・クラブチーム・スクールに所属するキッズおよび準ずるキッズで、傷害保険に加入していること
- 【内 容】 2002 年に Jリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け（補欠を作らず 4～5 人制）して、そのチームでその日限りのリーグ戦を戦い抜きます。

- ★ 試合には常にレギュラー選手としてフル出場 ★ 混成するので団員 1 人での参加も大丈夫
- ★ 4～5 人制でボールに関わるチャンスが多い ★ 混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



盛岡地区 冬季の部 ダイジェスト その1



- 【参加団体】 緑が丘、仙北、アントス、青山、月が丘、松園、太田東、MIRUMAE、山岸、上田、盛岡中央、グルージャ、雫石、羽場、手代森、厨川、イースト、玉山、OGASA、向中野、南公園スクール、Grows、県協会月が丘スクール&エリート盛岡スクール
- 【運営本部】 大久保和志（市協会キッズ委員長）、石山信三（市協会キッズ委員、山岸）
吉田隆一（事務局代行、山岸）、齊藤義光（市協会キッズ委員）、鎌澤和之（県協会キッズ）
- 【協 賛】 シライシパン（パン・和洋菓子の製造卸売業）

■ 2015 年 12 月 12 日（土） 渋民総合体育館（U-8 補欠ゼロ、U-10 フットサル）

【2 年生の部】



12 月 12 日、渋民総合体育館で「U-8 補欠ゼロリーグ冬季の部」と「3～4 年フットサル交流会」を開催しました。例年の冬季会場である県営体育館が改修工事のため、今年度は渋民総合体育館に場所を変更しての開催です。会場変更で、どれくらいの子供たちが参加してくれるか心配でしたが、1 年生 2 年生ともたくさんの参加者があり、関係者は、ほっとしておりました。（冬季・U-6 幼児の部は別日程）

大久保 和志

【2年生 集合写真】 78名



【3～4年生 フットサル交流会】



■ 2015年12月13日(日) 盛岡市立青山小学校 体育館 (U-6 補欠ゼロ) 18名



■ 2016年1月16日(土) 渋民総合体育館 (U-8 補欠ゼロ、U-10 フットサル)

【1年生の部】 19名



【2年生の部】 70名





【3～4年生 フットサル交流会】



■ 2016年1月17日(日) 盛岡市立青山小学校 体育館 (U-6 補欠ゼロ) 16名



編集 : 鎌澤 (県協会)